

# マンツーマンで対応

## かながわボランティア活動推進基金21奨励賞

障害のある人とその家族が、地域で自然に暮らしていきける社会であってほしい。そのために、特定非営利活動法人（NPO法人）の「パーソナルサービスセンター・トムトム」（上杉桂子理事長）は、二十四時間三百六十五日体制で、一時預かり、外出付き添い、宿泊などのサービスを行っている。マンツーマンが基本。障害の種類、年齢、利用の理由も問わない。家族の負担を軽減するだけでなく、障害児者が社会に触れ合う機会を増やし成長の糧とする。発足から二年半、トムトムは障害児者の家族にとって、かけがえのない存在になっている。

（報道部・熊谷 和夫）

「近くに頼りになる親族の種類、程度、また年齢に 崎を中心に平塚、寒川、藤もなく、ストレスで爆発寸 によっては、だれかが付きっ 沢の四十八家族が利用して

## 障害児者の家族を支援

# かけがえない存在に

前のとこまで追い詰められ、きりにならざるを得ないケ  
れていました。でもトムト ースがある。そうした場合  
ムの会員になって、暗やみ 家族、特に母親の負担は深  
から光が差し込むように心 刻だ。外出はままならず、  
晴れ晴れしました」。会員 家計が苦しくても仕事に出  
の母親が語る。

障害児者のケアは、障害 り家族崩壊などという結果  
になることもある。

「家族も友達も支えられ ない時のために、第三者の  
サービス組織があれば」と いう願いから生まれたのが  
トムトムだ。県立茅ヶ崎養 護学校の開校を契機に、児  
童の保護者、支援者が一九 九九年七月に設立した。活  
動拠点は、福祉施設一階の 2DKのスペース。さらに  
近への民家も借りた。茅ヶ

## カム・トゥゲザー 市民活動は今



ゲームをしたり、おんぶしてあげたり、マンツーマンで子供たちに対応するトムトムのスタッフ  
＝茅ヶ崎市萩園

いる。ケア対象のほとんど 勤職員十人、ボランティア  
は、知的障害のある小中学 約五十人で支えている。二  
生たちだが、四十代の成人 〇〇〇年度は三千一件、八  
もいる。 千九百十七時間の利用があ

サービスを中心は、保護 り、本年度はさらに増えて  
者の緊急事などに二十四時 いる。

トムトムの部屋では、寝 すべて絵を描いていた  
間年中無休で一時間かりな り、職員におんぶしてもら  
どを行う「パーソナルサー ビス」。そのほか、養護学  
校の放課後にトムトムの部 ったり、すっかり安心して  
屋や公園で過ごす「学童ク ラブ」、夏休み期間中の「余  
暇支援」というプログラム 見ることができ。

常勤職員の本間太郎さん 〇〇は「本人の成長のため  
もある。手厚いケアを行う にも家族、学校以外の第三  
ためマンツーマン対応が基 者とかかわることが必要。

を身につけることができま す」とトムトムの積極的意  
義を語る。本間さんは入所 施設に勤務したこともあ  
り、「入所施設は多額な経 費がかかっているのに、ケ  
アは十分になりがち」と 指摘する。本人のためにも、  
社会的コストの面からも、 障害児者が地域で安心して  
暮らしていきける社会が必要 と訴える。

課題は運営資金だ。会費 と利用料金が収入源のほと  
んどとあって、職員の献身 的努力で成り立っている。  
全国では、トムトムのよう な事業の必要性を認識し補  
助金を出す自治体も増えて きている。会では、自治体  
を含め、多くの人の支援を 求めている。

【メモ】所在地は、茅ヶ 崎市萩園1-6-24の2。☎  
0467-580000